

能登島ガラスコレクション展

# ガラスの不思議な世界

Notojima Glass Collection Glass Wonder Land

2017.2.4 SAT. → 4.9 SUN.

9:00-16:30 4月は17:00まで

ご入館は閉館時間の30分前まで

休館日 2月21日(火)、3月21日(火)

入館料 個人(高校生以上)800円 団体(20名以上)700円

中学生以下は無料

主催:公益財団法人七尾美術財団、七尾市



石川県能登島ガラス美術館  
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

能登島ガラスコレクション展

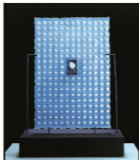
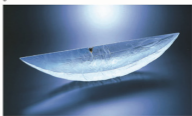
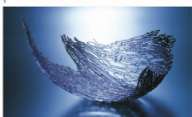
# ガラスの 不思議な世界

Notojima Glass Collection  
Glass Wonder Land

透明性と可塑性、硬さと強靭さをあわせ持ち、さまざまな表情を見せるガラスは、古代より人間の憧れを表現してきました。今年度の「能登島ガラスコレクション展」では、ガラスの最大の特性である「透明性」とガラス独特の「色」、多種多様な形や装飾を可能にする「技法」、ガラスの輝きを引き出す「光」の関係性に着目してガラス素材の性質とその魅力を紹介し、当館コレクションを展覧します。

ガラスと言えばまず無色透明のものを思い浮かべるのではないのでしょうか。無色透明のガラスは可視光線のほぼ全てを透過しますが、可視光線の一部しか通さないものは透明ですが、色づいて見えます。一方で、あえて光の透過や屈折を否定した乳白ガラスを下地として色づけたガラスも存在します。そして、温度変化によって形を変え、かつ比較的柔らかいというその性質ゆえに、ガラスには数多くの技法が存在し、それによってガラスの造形表現も非常に多彩なものとなっています。この技法もまたガラスの魅力を引き出す見どころであると言えます。

これらの要素が重なり合って生まれたガラス造形の不思議な魅力と美を、どうぞ堪能ください。



1. 「ネス」1999年、レオナルド・フツク

2. 「SPHERE」1960年、中根祐子

3. 「ラストダンス」2000年、トナー・ジンスキー

4. 「新しいボールのある水」1995年、クレック・カレンバーガー

5. 「projection」1998年、池ノ木保雄

6. 「フォルデン・ウィング」2005年、西條千

写真：【SPH】(2)【SPH】1990年、中根祐子

全て石川県能登島ガラス美術館蔵

## のどま「ガラスの丘」プロジェクト ガラ美でほっこり!ガラス彫刻体験

電動ルーターを使って、ガラス器にお好きな紋柄を彫刻するガラス工芸体験。

■日時/1~2月の毎週土日 土曜日 13:30~15:30、日曜日 10:00~12:00 ■所要時間/30分

■参加費/300円(別途入館料) ■対象/どなたでもご参加いただけます。

### 交通案内

○電車：JR石川線から能登島線まで特別列車で約1時間。

駅前から能登島美術館(旧)に能登島線(旧)バスで約30分、「美術館前」下車です。

○車：金沢方面から一の峠山道(国道19号)を越え、能登島線(旧)バスで約30分、「美術館前」下車です。

高山方面から 能登島線(旧)バスで約30分、七和ICから約30分。

○飛行機：のどま山荘のそばにあるとんぼパークにてガラス美術館から約1時間、(朝日15時までに要予約) 中能ネットTel 0767-66-0114

お問い合わせ 9926-0211 石川県七尾市能登島内町125番10号 Tel 0767-84-1176 <http://museo-of.jp/glass>

